

無料動画セミナー

どなたでもお申し込みいただけます

# 感染拡大で施設が取り組むべきこと

－施設現場の具体策15のポイント－

11月に入り再び感染拡大が進み、第8波に突入しました。今回は社会全体に厳しい規制が入らないことから、このまま推移することが考えられます。高齢者施設では、従来のウイルス侵入対策から、利用者の感染を前提とした対策に切り替えなければなりません。本動画セミナーでは、感染者の発生から重症化防止対策まで、施設管理者や感染対策担当者に必要な具体策をお伝えします。

■お申し込み方法：URLもしくは2次元バーコードからお申し込みください。

<https://bit.ly/3yyq8s8>

■視聴方法：

お申し込みいただいた方に、視聴用URLとパスワードを送付いたします。URLとパスワードは第三者への転送やSNS等への記載はご遠慮ください。

■セミナー資料について：

テキストと現場作成のツールをご希望の方は、動画の中で請求方法をご紹介しますので、手順に従ってご請求ください。

■申込期間：**新型コロナ終息までずっと！**

■視聴期間：**新型コロナ終息まで！**

■視聴時間：「感染拡大で施設が取り組むべきこと」→約30分

「高齢者施設のクラスター発生時の重症化防止対策」→約17分

※動画の内容は第7波で配信したものと一緒ですのでご覧ください。



## 動画セミナーの内容

### ●感染者未発生時の対策

- ポイント1：施設職員自身の飛沫感染防止策の徹底
- ポイント2：3回目接種と未接種職員への接種徹底
- ポイント3：ワクチン未接種利用者への接種促進
- ポイント4：濃厚接触による職員待機の回避
- ポイント5：職員のブレイクスルー感染の早期発見
- ポイント6：職員から利用者への感染防止策の徹底

### ●感染者発生時の対策（職員の感染）

- ポイント7：職員の陽性判明時の即時対応
- ポイント8：ワクチン未接種利用者のSPO2管理
- ポイント9：低湿度地域の加湿 & 水分摂取対策
- ポイント10：マスク選択・着用方法の再徹底

### ●感染者発生時の対策（利用者の感染）

- ポイント11：重症化リスクの把握
- ポイント12：感染者の施設外隔離の要請
- ポイント13：無症状・軽症利用者の施設内治療
- ポイント14：感染者の常時SPO2管理
- ポイント15：「隠れCOPD」の利用者に注意

**■ポイント6：職員から利用者への感染防止策の徹底**  
職員が感染していた時、少しでも利用者への感染を防ぐために、身体介護時の感染防止対策を徹底して下さい。特に「顔が密接しない介助方法」は重要です。

○顔が密接しない介助方法

○トングスボードを使う方法

○前後向きを転換する方法

**■ポイント11：重症化リスクの把握**  
ワクチン接種・未接種によって重症化リスクは異なりますし、基礎疾患によっても大きく異なります。利用者ごとのリスクを一覧表にして看護師が管理し、日常のケアの対応も変えて下さい。

年代別罹患		基礎疾患別罹患		ワクチン接種別罹患	
年代	罹患	疾患名	罹患	接種回数	罹患
30歳代	1	慢性腎臓病	18.0	0回	1
40歳代	4	慢性閉塞性肺疾患	13.4	2回	0.3
50歳代	10	慢性肺病	11.8	3回	0.1
60歳代	25	糖尿病	8.1		
70歳代	47	認知症	7.7		
80歳代	71	脳血管障害	7.0		
90歳代	78	痴呆	6.9		
		気管支炎	6.0		
		なし	1.0		

セミナーに関するお問い合わせは

株式会社安全な介護 受付担当 澤田

mail:soudan@nanasha.co.jp TEL:03-5995-2275